

添削ワークシート (小論文編 解答)

[1][2]の解答を確認しましょう。

- [1] 以下の添削例を参照し、自分自身がどこまで添削できたか確認しましょう。文言が完全に一致する必要はありません。なお、第二段落の改行箇所は⑤です。8行～20行が第二段落でした。
- [2] 各段落の役割は以下の通りです。
 - 第一段落(序論)：テーマを整理し、文章全体で論じる主張を明確に述べる。
 - 第二段落(本論①)：具体的根拠を挙げながら、接種証明書を活用する際の問題点を説明する。
 - 第三段落(本論②)：具体的根拠を挙げながら、接種証明書を活用するための方法を説明する。
 - 第四段落(結論)：接種証明書の注意点や活用方法を踏まえて、筆者の主張をまとめる。

【より詳しく学びたい場合・・・】

- 今回のワークで添削できなかった項目には、以下の課題・対策が想定されます。
- 自身の課題を理解し、文章作成の訓練・対策を始めましょう。
- [1]③～⑥、⑨～⑱、⑳／[2](段落の役割)
- ⇒ 原稿用紙の使い方や言葉の選び方など、基礎的な文章の書き方を学ぶことが必要です。
- [1]②、⑦、⑧、⑱／[2](小論文の構成の仕方)
- ⇒ 論述で求められる論理的思考や論理構成など、小論文の考え方を学び、実際に記述する訓練が必要です。

※ワークシートの構成上、問題番号化されていない修正箇所もあります。あわせてご確認ください。

800字

600字

400字

200字

ワークシートに記入された文章と、その添削内容が示された表が並列表示されている。文章には赤い線や丸で修正箇所が示され、数字の番号が振られている。表には、添削の理由や具体的な修正方法が記載されている。

問 番 号	学 年	高 校 名
1	3年	東京都立第一学園高等学校
2	2組	東京 太郎
3	14	東京 太郎
4	14	東京 太郎
5	14	東京 太郎
6	14	東京 太郎
7	14	東京 太郎
8	14	東京 太郎
9	14	東京 太郎
10	14	東京 太郎
11	14	東京 太郎
12	14	東京 太郎
13	14	東京 太郎
14	14	東京 太郎
15	14	東京 太郎
16	14	東京 太郎
17	14	東京 太郎
18	14	東京 太郎
19	14	東京 太郎
20	14	東京 太郎

添削欄

① 縦書きの場合は、必ず漢数字を用います。

② 「接種証明書」と書くだけでは説明不足です。本文の中では、何の証明書なのかを明確に説明しておきましょう。

③ カタカナ語の多用は避けましょう。文章の質を低めるので、適切な日本語を用いるようにします。

④ 「リコメンド」→「推奨」「奨励」というように、適切な表現の多用は避けましょう。

⑤ 自信のなさそうな文章になり、あいまいな印象を与えかねません。

⑥ 「と」を「だ」で改行して、一マス空けてから書き出します。

⑦ 「と」が重なり、伝わりづらい表現になっています。

⑧ 具体的な数値を示せるとよいです。

⑨ 「高齢者」よりも「現役世代」の進捗状況を挙げて接種率が高くないことを示しましょう。

⑩ 話し言葉でなく、書き言葉で表します。

⑪ 「こんな」→「このような」。

⑫ 表現を統一しましょう。

⑬ 「パスポート」「ワクチンパスポート」といえる必要はありません。

⑭ 同じような内容の繰り返しになります。

⑮ 統一すると分かりやすいです。

⑯ 「と」ではないか、「と」だらうか、と悩まれないか、といったあいまいな表現は避け、論調が変わるため、逆接の接続詞を用います。

⑰ この場合は「模索」「検討」などを用いるのが適切です。

⑱ 略語は用いませぬ。

⑲ 「経団連」。

⑳ 日本経済団体連合会。

○ 小論文では、「と」のみの使用で構いません。

この場合は語句の引用なので、「と」を用います。

⑲ 内 二七五 三十五行目 一文の長さは、二、三行におさめます。一文で一つのことを述べるようにします。

⑲ 近接同語(同じ言葉の繰り返し)は避けましょう。

⑲ 内 三十九 四十行目 本論(八行目)で述べてきたことと矛盾します。終始一貫した意見を述べましょう。

⑲ 字数オーバーは、大幅な減点の対象になります。

⑲ ためにも政府と経済界との連携が求められる。

さんぽう